# やす市議会だより

篠原小学校運動会　篠っ子パワーが全開　色別応援アピール！！


**No.16**

発行日／平成20年11月１日
発行／野洲市議会
編集／議会広報編集特別委員会


〒520-2395
滋賀県野洲市小篠原2100番地１
TEL （077）587－6034
FAX（077）586－4300
野洲市ホームページ
http://www.city.yasu.shiga.jp/



- ９月定例会報告 …… P　2
- 常任委員会報告 …… P　6
- 一般質問 …… P　8
- 議会の動き …… P１６



議会だより16.indd　1　　2008/10/23　16:42:26

# 第4回 9月定例会

**9月定例会は、8月29日に開会し、市長から条例制定など25議案が提案され、また、議員から意見書7件が提案された。**
**9月4日～8日には14名の議員が一般質問を行ない、22日に閉会した。**

## 条例

**◎野洲市まちづくり寄附条例**
○「ふるさと納税制度」を野洲市のまちづくりに生かし、寄附金による基金及び市民活動支援制度と併せて、寄附条例により制度化を図る。
　野洲市のまちづくりを全国の野洲出身者をはじめ、野洲を応援していただく方々から寄附金を募り、市民活動への支援や福祉、教育など各種の事業を選択できることとし、これら寄附金を基金として積み立てて、参加と協働のまちづくりを推進するために活用する。

**◎野洲市税条例の改正**
○主なものとして、法人市民税の税率について、資本金等の額が1億円を超える法人に適用する税率を14・5％から14・7％に改定。

**◎野洲市使用料条例の改正**
○幼稚園保育料について、現行の年額73，200円から75，600円に改定。平成21年度から実施。

野洲市全景

## 予算

**◎一般会計補正予算**
○3億5661万2千円を追加し、総額を177億5835万5千円とする。また、中小商業活性化促進事業補助金として今年度から5年間で合計1億円を設定していた債務負担行為を廃止。

**◎国民健康保険事業特別会計補正予算**
○7181万7千円を追加し、総額を41億9278万円とする。

**◎老人保健事業特別会計補正予算**
○6220万2千円を追加し、総額を3億9538万6千円とする。

**◎介護保険事業特別会計補正予算**
○2758万2千円を追加し、総額を25億582万7千円とする。

**◎下水道事業特別会計補正予算**
○350万7千円を追加し、総額を32億2366万円とする。

**◎工業団地等整備事業特別会計補正予算**
○1414万1千円を減額し、総額を29億4466万9千円とする。地域開発事業借換債では、26億2290万円に変更する。

## その他

**◎委任専決処分の報告**
○市役所駐車場において発生した駐車中の自動車への公用自動車の接触事故に対し、市の賠償額を11万9151円と定める。

**◎工事請負契約について**
○第3回臨時会で議決した市道野洲川右岸線道路改良工事の請負契約について、請負人の自己破産による契約解除に伴い、新たに㈱辻工務店を請負人とする契約について、議会の議決を求める。

**◎人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて**
○12月31日に3名が任期満了となるため、苗村昌代氏と藤上みどり氏を引き続き推薦し、新たに田中ふじ江氏を推薦。

## 請願

**◎青少年健全育成のための有害図書類・有害情報に関する法整備を求める意見書採択についての請願**
○6月定例会で継続審査となっていた請願について、今日の青少年を取り巻く現状を考えると、この請願の趣旨については賛同できるなどの意見が多数あり、趣旨採択とした。

**◎肥料・飼料等価格高騰に関する請願書**
○肥料・飼料等の生産資材の価格高騰が続き、農畜産経営は危機的状況にある。これに対する支援措置等を実施するよう国等に要望するもの。全員賛成で採択した。

議会だより16.indd　2　2008/10/23　16:42:52

## 意見書

以下の6件を、内閣総理大臣ほか各関係機関に送付。

◎社会保障費を毎年2,200億円抑制する方針の撤回を求める意見書

◎投機マネーの規制を求める意見書

◎道路財源の「一般財源化」に関する意見書

◎ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）関連疾患に関する意見書

◎「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書

◎肥料・飼料等価格高騰に関する意見書

# 審議結果一覧

| 分類 | 議案番号 | 件名 | 審議結果 |
|---|---|---|---|
| 条例 | 議第53号 | 野洲市まちづくり寄附条例 | 原案可決 |
| | 議第54号 | 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 | 原案可決 |
| | 議第55号 | 公益法人制度改革に伴う関係条例の整理に関する条例 | 原案可決 |
| | 議第56号 | 野洲市税条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| | 議第57号 | 野洲市使用料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| | 議第58号 | 野洲市下水道条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 補正予算 | 議第59号 | 平成20年度野洲市一般会計補正予算（第2号） | 原案可決 |
| | 議第60号 | 平成20年度野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| | 議第61号 | 平成20年度野洲市老人保健事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| | 議第62号 | 平成20年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| | 議第63号 | 平成20年度野洲市下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| | 議第64号 | 平成20年度野洲市工業団地等整備事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 決算 | 議第65号 | 平成19年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第66号 | 平成19年度野洲市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第67号 | 平成19年度野洲市老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第68号 | 平成19年度野洲市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第69号 | 平成19年度野洲市地域医療振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第70号 | 平成19年度野洲市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第71号 | 平成19年度野洲市墓地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第72号 | 平成19年度野洲市基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第73号 | 平成19年度野洲市工業団地等整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第74号 | 平成19年度野洲市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 議第75号 | 平成19年度野洲市水道事業会計決算の認定について | 認定 |
| その他 | 委任専決第7号 | 損害賠償の額を定めることについて | 報告 |
| | 議第76号 | 工事請負契約について（市道野洲川右岸線道路改良工事(平成20年度3-1工区)） | 原案可決 |
| | 議第77号 | 人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて | 適任 |
| 請願 | 請願第2号 | 青少年健全育成のための有害図書類・有害情報に関する法整備を求める意見書採択についての請願（第2回定例会からの継続審査） | 趣旨採択 |
| | 請願第4号 | 肥料・飼料等価格高騰に関する請願書 | 採択 |
| 意見書 | 意見書第15号 | 社会保障費を毎年2,200億円抑制する方針の撤回を求める意見書 | 原案可決 |
| | 意見書第16号 | 消費税の増税を行なわないよう求める意見書 | 否決 |
| | 意見書第17号 | 投機マネーの規制を求める意見書 | 原案可決 |
| | 意見書第18号 | 道路財源の「一般財源化」に関する意見書 | 原案可決 |
| | 意見書第19号 | ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）関連疾患に関する意見書 | 原案可決 |
| | 意見書第20号 | 「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書 | 原案可決 |
| | 意見書第21号 | 肥料・飼料等価格高騰に関する意見書 | 原案可決 |
| 議員提案 | 発議第2号 | 野洲市議会会議規則の一部を改正する規則 | 原案可決 |

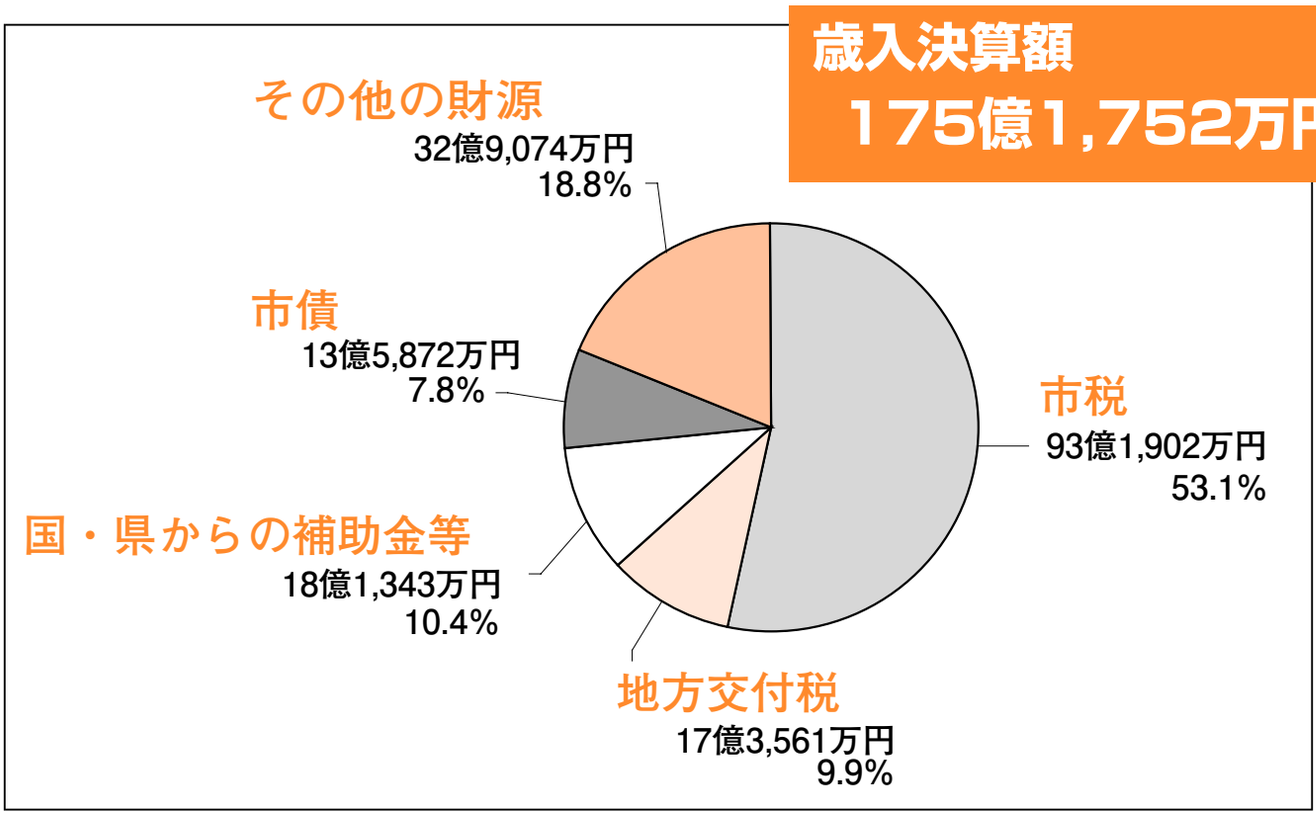


議会だより16.indd　3　2008/10/23　16:43:17

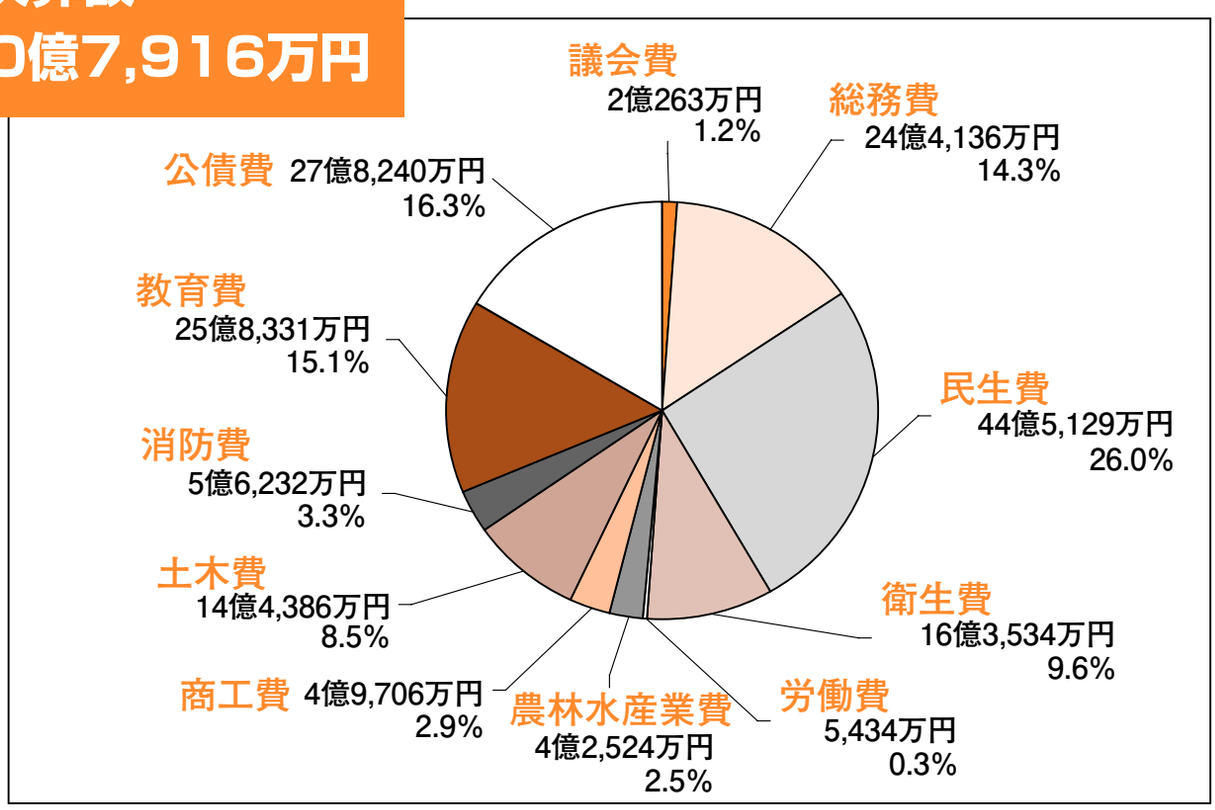
# 平成19年度各会計決算を認定

## 一般会計の内訳は？

### 歳入決算額 175億1,752万円




### 歳出決算額 170億7,916万円






議会だより16.indd　4　　2008/10/23　16:43:19

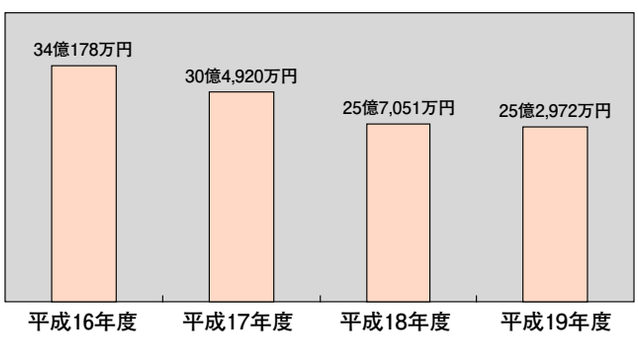
## 各会計決算の概要

| 会計 | | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引額 |
|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 175億1,752万円 | 170億7,916万円 | 4億3,836万円 |
| 特別会計 | | 155億1,140万円 | 153億4,907万円 | 1億6,233万円 |
| 内訳 | 国民健康保険事業 | 39億1,837万円 | 38億6,948万円 | 4,889万円 |
| | 老人保健事業 | 33億9,043万円 | 33億9,010万円 | 33万円 |
| | 介護保険事業 | 24億3,982万円 | 23億6,609万円 | 7,373万円 |
| | 地域医療振興資金貸付事業 | 2,478万円 | 2,478万円 | 0 |
| | 下水道事業 | 26億2,786万円 | 26億0,454万円 | 2,332万円 |
| | 墓地公園事業 | 3,500万円 | 2,999万円 | 501万円 |
| | 基幹水利施設管理事業 | 1,483万円 | 1,483万円 | 0 |
| | 工業団地等整備事業 | 29億8,637万円 | 29億7,532万円 | 1,105万円 |
| | 土地取得 | 7,404万円 | 7,404万円 | 0 |
| 合計 | | 330億2,892万円 | 324億2,823万円 | 6億0,069万円 |

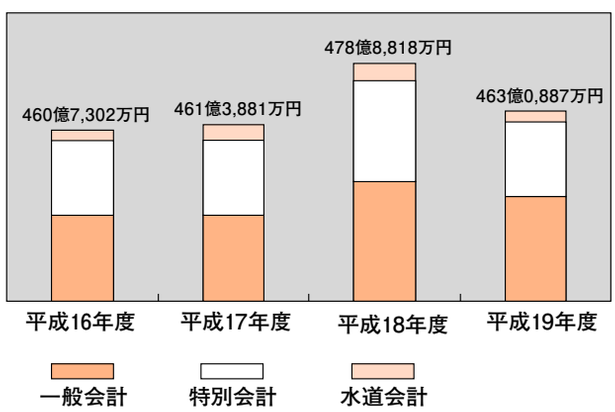
| 水道事業会計 | 収入額 | 支出額 | 差引額 |
|---|---|---|---|
| 収益的収支 | 8億3,892万円 | 8億7,744万円 | △3,852万円 |
| 資本的収支 | 8,370万円 | 5億2,672万円 | △4億4,302万円 |

※不足額については、損益勘定留保資金等で補てんされています。

### 基金残高の推移　～市の貯金～




### 市債残高の推移　～市の借金～




### 監査委員の審査意見＜要旨＞

審査は7月22日から29日までの間に行い、各会計の計数は正確であり適正に執行されていると認められた。

財政の弾力性を示す経常収支比率がやや好転し、市債残高も減少したが、今後もより合理的で効率的な財政運営が望まれる。

市の財政状況は大変厳しく、地方交付税の削減等により財源不足も予想される。市税等の滞納者に対しては、厳正な態度で臨み早期回収に一層努力されたい。

市は行政評価や財政健全化計画等の策を講じているが、多様化する住民ニーズや少子高齢化等財政運営に直結する問題が山積しており、中長期的で広い視野をもって、合併のメリットを生かした取り組みによる堅実で魅力ある都市の実現を期待する。



議会だより16.indd　5　2008/10/23　16:43:22

# 審議内容

## 総務

●野洲市まちづくり寄附条例

**問** 寄付集めのPR方法は。

**答** 滋賀県下の大半の市町が今議会で条例制定される。県と協力しながらPRについて検討する。

**問** まちづくり推進委員会の中でふるさと納税制度についての審議は。

**答** 寄附条例については審議を行ったが、ふるさと納税制度については十分な審議を行っていない。

**問** 活動奨励金の交付審査を決定する第三者機関の構成は。

**答** 5～6名で大学教授などの学識経験者や民間や公募委員等で構成。いずれも、対象団体と利害関係のない事が前提。

●平成20年度野洲市一般会計補正予算

**問** 循環バスの見直しは。

**答** 近畿地方運輸局の滋賀県支局、県・警察・市の職員、滋賀県バス協会等の関係団体で議論を進め、費用対効果が表れるよう検討を行う。

●平成19年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定

**問** JR複々線化用地の状況は。

**答** 青年会議所、野洲自治会、市内企業に貸し付けている。

**問** 旧2町間の職員給与格差の是正は。

**答** 若い職員を中心に是正を調整し、現在、ほぼ格差はない。

**問** 自治連合会への補助金140万円の詳細内容は。

**答** 男女共同参画、自主防災関係の研修会、学区単位で行っている行政懇談会の費用。

**問** 同和事業促進協議会への100万円の補助金内容は。

**答** 啓発活動、生活指導、自立支援に向けた活動に対する補助。

**問** 選挙ポスター掲示板のリサイクル状況は。

**答** 委託業者が持ち帰りリサイクルを行っている。

じゅんかんバス

総務常任委員会において、委員長が欠員となったため、次の通り互選しました。

委員長　内田　聡史
副委員長　本田　章紘

## 環境経済建設

●野洲市下水道条例の一部を改正する条例

**問** 基準を緩和したのではないか。

**答** 規制緩和になるが、現実に十分、現在の処理場で浄化できる水準にある。

●平成20年度野洲市一般会計補正予算

**問** 環境保全費の琵琶湖総合保全による諸収入は、毎年見込めるか。

**答** 琵琶湖の市町境界設定に伴う交付税の増額分を活用した取り組みで、26市町村に対して300万円の予算額で次年度以降も見込める。

**問** 鹿芥処理施設の清掃委託料140万円の内容は。

**答** 外来生物オオフサモが越冬し繁茂してきて、水路内の流れを妨げているので除去する。

**問** 集落営農ステップアップ促進事業の内容と現在の対象集落は。

**答** 法人化に対する研修等の費用を見ている。営農組織は、5団体が希望されている。

**問** 中小商業活性化補助金2千万円と債務負担行為について、今回予算減額の内容を十分精査したうえで取り組むべきであったと考えるが見解は。

**答** 中主商工会で19年度に10回に及ぶ検討会を重ねて、その結果有効な手段として予算化をしたが、反省点としては、その計画の具体的、詳細な事業精査が必要だった。

太陽光発電システム



議会だより16.indd　6　2008/10/23　16:43:28

# 常任委員会

**問** 中小企業融資対策事業で信用保証協会の内容が9件あるが、限度額と審査方法は。

**答** 限度額は、1250万円を3口まで。審査は、金融機関で受付をし、金融審査会にて審査している。

**問** 工業振興助成金に15億円ほど投資するが、企業からの税収見込みは。

**答** 平成24年までの累計で、16億4千万円を試算している。

**問** 公有財産購入費8987万6千円の内容は。

**答** 市道野神東町線の交差点改良で、用地買収により右折レーンを設置し交通のスムーズな交差点としての機能を持たす。

**問** 間宮川浚渫工事の内容は。

**答** 長さ850mで深さ30から50cmを浚渫する。
ヘドロの処理も今回の補正予算に含んでいる。

**問** 都市計画総務費の県からの交付金の内容は。

**答** 県で行っていた開発許可権限を平成21年度から権限移譲されるための準備費用として、図書及び職員研修費を計上している。

**問** 住宅建設費の不動産鑑定委託料の内容は。

**答** 平成14年新上屋団地2号棟の建て替えの際に、不足分219㎡を上屋（村中財産）より譲り受けた土地に対しての買収単価に資するため。

### ●平成19年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定

**問** 太陽光発電は環境対策になるが、本市の取組みは、補助金削減で矛盾しないか。

**答** 太陽光発電のシステム導入を向上させるには、余剰電力の助成制度をうまく活用することも検討する。

**問** し尿処理の今後の計画は。

**答** 基本的には最後の一軒まで責任を持って処理する必要があると考える。

**問** 長島の農園は。

**答** 今年度より、県営田園空間整備事業として、着手予定です。

**問** 農業委員会の今後の在り方は。

**答** 市と農業委員会が連携しながら、農業のあり方について再度検討する。

## 文教福祉

### ●野洲市使用料条例の一部を改正する条例

**問** 幼稚園の保育料改定に伴う増収額は。

**答** 年額2400円の改定により、平成20年度の園児ベースで試算すると約200万円の増収見込み。

### ●平成20年度野洲市一般会計補正予算（第2号）

**問** 健康福祉センターの玄関ドアセンサーはこれまで何回修理したのか。

**答** 17年間故障なしで、今回初めての修理である。

**問** 緊急体制通報事業費5名分の補正の内容は。

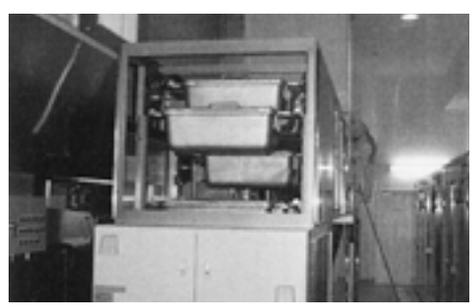
**答** 当初10台分予算計上していたが、追加申請がでたため、5台分追加補正する。

**問** 母子家庭の自立訓練で専門学校で取る資格は。

**答** 取る資格の内容が決まっていて、例えば看護師や保育士等。

**問** 学校給食センターで使用する米の品種は。

**答** 複数の品種を使用すると炊くときの水分量が違うため「コシヒカリ」に統一する。


自動炊飯システム

**問** 文化財発掘調査の19年度実績及び20年度の受託調査件数は。

**答** 19年度は25件、20年度は立会調査を含め51件ある。

### ●平成19年度野洲市一般会計歳入歳出決算の認定

**問** 敬老祝い金の基準日は。

**答** 9月15日現在を基準日にしている。

**問** 民生児童委員の活動費は21年度から個人口座に振り込まれるのか。

**答** 個人口座に振り込めるよう検討している。

**問** 民生児童委員の活動費の繰越金の実体は。

**答** 掌握していなかったので調査する。

**問** 指定管理者制度導入後3年が経過したが、委託施設職員の応対に対して、市民から批判の声がでているが。

**答** 綱紀の粛正的な部分、また、指導の部分で十分対応していく。

**問** 学校関係でタクシー使用の実体は。

**答** 学校で子どもがケガをした時や緊急事態等発生時に利用している。

### ●平成19年度野洲市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

**問** 認知症キャラバンメイトサポーターの活動は。

**答** 自治会等で認知症の理解を深めてもらう研修会に出向き活躍してもらっている。



議会だより16.indd　7　2008/10/23　16:43:36

# 一般質問 Q&A 市のゆくえは

## ９月定例会、14名の議員が質問

議長、副議長ならびに議会選出監査委員は、申し合わせにより一般質問ができません。

### 平成19年度決算と財政健全化計画

三和郁子

問　現在取り組み中の財政健全化計画の必達はもちろんのこと、期間内における指標の更なる改善修正を視野に入れた懸命な努力が、市民の目線から求められている。

①健全化計画と19年度決算にみる精査の概要は。
②精査から実行プログラムの改善目標の改定や項目の付加設定など、前向きな取り組みは。

### 改善目標達成率70％ 物件費以外―ほぼ達成

山崎市長

答　①普通会計収支改善目標額5億5千8百万円に対し、給食センター備品整備、中主小学校パソコン整備などの行政経費発生により、3億9千3百万円の削減実績となった。
②20年度半ばであり見直しには尚早、12月以降が適当と考えている。

### 評議員制度 開かれた学校づくり

問　地域に根ざした特色ある学校づくりを目指して、平成12年2月学校評議員制度がスタート。
　本市においても各校園に校園長推薦による評議員を教育委員会から委嘱している。
①各校園の評議員活動の実態は。
②単位評議員会の上部組織に『連絡協議会』があるが活動の実態は。
③評議員には、長年に亘り委嘱、一家族で複数委嘱等、偏りもある。幅広く意見発掘が必要ではないか。

### 評議員『連絡協議会』年度内に活動再開

大堀教育長

答　①概ね年3日開催。多様な意見を聴取し、経営改善・児童生徒の健全育成に反映させている。
②合併後開催していない。本年度中に再開したい。
③斬新かつ広く意見の聴取ができる人選を工夫したい。



議会だより16.indd　8　2008/10/23　16:43:44

# 新上屋地区市有地の違反建築群は

中島一雄

**問**　上屋区は旧祇王村（旧野洲町）の1／4の郷面積がある。祇王小旧学校給食センター、町営住宅建築等町の公共用地買収事業また町誘致工場など区民の協力のもとにすべて収めてきた経緯がある。

旧学校給食センターに関する件で平成13年10月に上屋区有地と市営住宅建築用地との交換に関して市担当者とは約7年間、副市長を交えてからも約2年間協議を続けてきたが未だに解決の目処がたっていない。

①旧学校給食センターの建物は平成11年12月に県農政課の文書で違反建築物と判っているが、何故今まで放置されたか。

②埋蔵文化財倉庫、事務所周辺の付属建築物は建築確認をされているのか。その確認番号は。

③長年放置され今日に至っているが地方公務員法30条の服務基本の解釈は。

④違反建築物に多額の税金を投入しているがどう思うか。

## 建築主事の指導を待ち しかるべき処置を取る。

川尻副市長

**答**　①今後、県（農政課）と協議し処理を進める。

②経緯を確認したところ指摘のとおり建築確認の届出の無い建物があり、今後南部振興局建築主事の指導を待ち、しかるべき処置を取る。

③建築確認が必要であるとの認識が無く今日に至ったことは遺憾であり、南部振興局の指導に従い対処する。また職員に法令遵守を指導する。

④手続に不備があり今後は改める。

旧　野洲学校給食センター

# 妊婦健診項目にHTLV-1の抗体検査項目を

矢野隆行

**問**　このウイルスは輸血や性交渉により、また母乳を介して母親から感染するが、このうち輸血による感染防止のために、献血時の抗体検査が昭和61年11月から導入され、新たな感染はほぼなくなった。残る課題は、母乳を介しての母親からの感染防止である。①妊婦健診項目にHTLV-1の抗体検査導入を。②過去にこの「成人T細胞白血病（ATL）」や、「せき髄疾患（HAM）」等の患者は。

## 抗体検査が実施

新庄市民健康福祉部長

**答**　①妊婦健診において実施している。②特化した疾病データは国県において存在しないため、把握できない。

# 公園に健康遊具の導入を

**問**　①高齢者向け筋力トレーニングが、平成17年度から実施されている。そのトレーニングを受けた方の、その後の筋力トレーニングは。②公園に健康遊具の導入が、これからの医療費抑制につながると考えられるが。

## 有隣館隣接地公園で対応を

新庄市民健康福祉部長

**答**　①野洲健康福祉センターや総合体育館での自主トレや他の教室へ参加や、地域でのウォーキングなどで健康保持に努めている。②外出機会の拡大につながると共に、筋力向上や健康保持に役立ち、医療費の抑制につながる。有隣館隣接地に健康遊具を設置する。

健康遊具

## その他の質問

**問**　①学校施設の耐震化の計画は。②市営永原住宅の耐震化の審査は、確実に実施され安全なのか、また電気、水道等の漏電、漏水については。③その他の公共施設の耐震化調査は。



議会だより16.indd　9　2008/10/23　16:43:50

# 学校給食費滞納者への法的措置を

奥村治男（おくむらはるお）

**問** 学校給食費の負担については、学校給食法第6条2項の規定により、食材費等は保護者が負担することが定められている。

保護者の中には経済的に支払う能力があるにも関わらず、支払おうとしない者もいて、モラルの低下が全国的にも問題となっている。

本市においても平成20年5月末現在で139名の保護者が給食費を滞納しており、総額313万円にもなる。

悪質滞納者に対しては法的措置を取り、訴訟手続きによる履行を請求する必要があると考えるが。

## 悪質滞納者は年度内に法的措置を取る

大堀教育長

**答** 督促状の発送、最終催告等の手続きを経た後、悪質滞納者と考えられる者に対しては、年度内に簡易裁判所に支払督促を申し立てる。また、必要に応じ強制執行の手続きを進める。

# 中学校における武道の必修化は

**問** 武道は、我が国固有の文化であり、子どもたちに我が国の文化や伝統を尊重する態度を身につけさせ、相手を尊重する人間性を養う上で極めて有効なものである。

中央教育審議会では、中学校の体育の授業で武道を男女を問わず必修化する方針が決められ、平成23年度から実施される。

武道場等の整備と指導者の確保は。

## 必修化に伴い、指導者の育成を図る

大堀教育長

**答** 体育の授業での武道の必修化に伴い、指導者の育成ならびに指導技術の向上については大変重要であると考える。

国や県の指導者講習会等の機会を通じ指導者の育成を図っていく。また、武道場等については、現在の施設を有効に活用する。

# スポレク滋賀2008開催

内田聡史（うちださとし）

**問** 10月18日から21日までの4日間、第21回全国スポーツレクリエーション祭が希望ケ丘をメイン会場に開催される。

全国各地から開会式、イベントに選手、観客約2万人が参加予定であり本市主催のグラウンドゴルフには約500名の選手が参加予定である。

この祭典の趣旨は、広く国民にスポーツ、レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民一人ひとりの活動への参加意識を喚起し、国民の生涯を通じたスポーツ、レクリエーション活動の振興に資することが目的である。

①JRで来市される方の受け入れ態勢は。

②野洲市実行委員会の取り組みは。

③野洲市観光物産協会との連携は。

④本市観光情報の提供は。

⑤この祭典を一つの行事として終わらせるのではなく、本市のこれからの施策とリンクさせる事が重要であると考えるが

## スポレクへの関心の深まりを期待する

東郷教育部長

**答** ①市役所本庁舎を発着場所としてシャトルバス25台を運行。

②体育協会をはじめとする関係組織で総務企画、協議運営、広報観光専門部会を設置し協議を行っている。

③観光地のPRと、物品販売のブースを出店。

④グラウンドゴルフの参加者受付でプログラムにパンフレットを同封する。

⑤スポレク祭で紹介されるニュースポーツも、今後は積極的に取り入れ、市民への普及を図る。

グラウンドゴルフ開会式



議会だより16.indd　10　2008/10/23　16:43:56

# 乳幼児保育 受け入れの充実を

西本俊吉

**問** 市内保育所は、新たな入所希望が出てきても受け入れられない状態である。特に保護者の育児休業明けとなる一・二歳児の入所希望が多く、家庭での待機児童が多いと聞く。早急な対策が必要と考えるが、行政の対応は。

## 受け入れに努力

新庄市民健康福祉部長

**答** 4月に認可保育所を1園開園、公立・民間で保育所は10園となり、定員は835名となった。しかし、待機児が30数名出ていることから、弾力的な運用等で受け入れに努力する。耐震化等の施設改修に併せて効果的な手法を検討する。

# 旧野洲川右岸道路と湖岸緑地公園整備

**問** ①旧野洲川北流の右岸、国道477号線から湖岸道路に至る間が整備されないままになっている。下堤地先では民家と接していて、砂埃など住民生活に影響を与えている。今後の道路整備計画は。

現在の管理部局で、車道部分の道路舗装が出来ないか。

②下流域河川敷の緑地公園、全体の3分の2、10haが未整備状態。今後の県の整備計画は。

## 整備を進める

高田都市建設部次長

**答** ①県道菖蒲線の振替事業として要望。本年度に見直された県のアクションプランでは、この道路は平成25年度以降に事業着手する計画である。

市としては国道477号線から五条吉川湖岸線の区間整備を先行して要望する。路面舗装は、受益者負担で野洲川下流土地改良区と協議する。

②平成23年度整備の予定。

下堤地先

# 資源を活かしてモノの命を大切にするには

中田幸子

**問** 現在、一般廃棄物処理は分別も細かく分けられリサイクル・リユースできるモノへと資源を活かしモノの命を大切にする取り組みが市民の意識高揚につながっている。こうした中、廃食油回収によるバイオディーゼル燃料化を行い、市の公用車にも利用され、またスーパー等にリサイクル品回収ボックス設置や、マイバッグ持参でごみ減量化の取り組みに協力されている事が、環境対策につながっている。

そして、リユースセンター設置の必要性や子どもたちの環境教育も大切と考えている。

①19年度の廃棄物処理実積は。

②ごみ減量化対策と数値目標は。

③優先的に取り組むべき内容は。

④企業、市民への協力と指導は。

⑤学校での環境教育は。

## 資源化システムづくりを推進する

岡野環境経済部長

**答** ①平成19年度の実積は前年度比3.8%減少した。これは個別廃品回収等の促進と考えられる。

②ごみ減量目標は年間一人当り平成17年度比で平成25年度20%、32年度40%の削減。

平成17年度は一人の年間ごみ量は313kgに対し、19年度は270kgと14%減となった。

③平成19年3月に野洲市環境基本計画を策定し、廃棄物に関する6つのプロジェクトが優先的に取り組むべき施策と考える。

リユースセンターも5年以内に設置を検討中。

④企業、市民へは情報提供し、市民活動団体等と連携し推進していく。

⑤環境教育では主にごみ分別、減量化、節水、節電、リサイクル活動、空缶回収、給食の残菜や草を肥料にして活用した取り組みを実施している。

資源の再利用を



議会だより16.indd　11　2008/10/23　16:44:02

# 野洲駅前周辺整備 十分な検討を

野並享子（のなみきょうこ）

問　駅前整備事業は「まちづくり交付金」の補助金で行われるが、5年間で1兆円交付され、申請されたすべてを認め、税金のばらまきと言う批判がある。本市の整備計画も必要でない計画があり、見解を求める。

①歩行者の安全を考えれば、ロータリー内の横断をやめ、企業の送迎車も歩道に面して駐車をすべきでデッキは必要ない。②北口にも自家用車の乗降スペースが必要。③排水対策のための地下貯留設備はまず1番に整備すべき。④まちづくり推進協議会の構成は。

## 関係機関と協議

堤都市建設部長

答　「まちづくり交付金」は国の交付金制度であり、見解を述べる立場ではない。①車道横断はできるだけ避けたい。②北口の整備計画は関係機関と協議。③祇王井川は一級河川であり、県と協議が必要。④20～30名で、県、公安委員会、学識経験者、市民、公共交通機関、関係者で構成。

野洲駅南口

## 規制改革の名による公的保育の解体

問　政府と財界は保育分野を儲けの対象に公的保育所の解体を進めている。直接契約方式を採用し、保育料も原則自由を打ち出した。このようなことが実施されれば、低所得者や障がい児は排除される。市の現状は。

### 今後もきめ細かな保育を提供

新庄市民健康福祉部長

答　国では規制改革推進が進められている。市では次世代の健全育成の場として、障がい児保育、一時保育、病後児保育など実施。今後もきめ細かなサービスを提供する。

### その他の質問

問　市三宅区画整理事業で計画道路の見直しは。

答　今後一部の見直しが必要と考える。

# 野洲市の農業振興と地産地消の積極推進を

小菅六雄（こすがむつお）

問　①本市の現農業方針である「農業経営基盤強化の推進に関する構想」「水田農業ビジョン」は国の農政追随となっている。その結果、疲弊と崩壊の一途である。市農業と農家を守り具体的な振興方針を策定し、これを推進する「市農業振興条例」の制定は。②市として食料自給率向上と地産地消の推進へ、学校給食にとどまらず市内企業の社員食堂、病院、あるいは介護施設の給食など、視野を広げた取り組みは。

## 農業政策を的確に推進

土肥環境経済部政策監

答　①国の農政を的確に推進するための、「構想」「ビジョン」であり、着実に進めたい。②企業の社員食堂における地場農産物の利用など、市内の各種施設にも地産地消の取り組みを積極的に広げていく方向で検討したい。

市内農地

## 原油・物価高に対して市民の暮らし守る市施策を

問　原油高と穀物高のダブルパンチで食料製品の大幅な値上げなど、生活保護世帯や低所得者および高齢者世帯を始め、市民生活全体の暮らしを直撃している。これらの方への施策を行なうべきである。通所施設においても運営が厳しい中、燃料高騰で大変であり、燃料補助などの施策を行なうべきである。

### 早急に検討

新庄市民健康福祉部長

答　燃料高騰の中で、低所得者については厳しい中、補助を検討していきたい。通所施設についても送迎用燃料が高騰しており検討したい。

### その他の質問

問　野洲養護学校への市内循環バスの利用は。

答　関係課が連携を取って調整を図りたい。



議会だより16.indd　12　2008/10/23　16:44:09

# 多重債務対策の強化

梶山幾世

**問** 今年4月からの市民生活相談室への相談件数は315件、2割は多重債務者である。

各課とのネットワーク体制の連携により、税等の滞納者に多い多重債務者の掘り起こしと生活再建への更なる取り組みを。

①納税推進室として、滞納整理への方針を明確にした体制づくりが必要。

②給食費、保育料の滞納者へ、カウンセリング等債務整理、生活再建への対応は。

③各課のネットワーク体制の取り組みは、年2回の研修で対応できるのか。

## 各課とのネットワーク体制の充実を図る

新庄市民健康福祉部長

**答** ①カウンセリングシートの記録表を作成し、聞き取りによる多重債務者の掘り起こしをしている。

指導方針を統一するため室長を中心とした毎朝のミーティングで、徴収担当者のレベルの均一化、向上を図っている。

②給食費の滞納者は、借金の有無は聞いていないが面談等で相談があれば解決に向けた連携を取っていく。

③年度初めに生活再建に向けた各課連携の必要性を確認。2回目は、経過報告、課題等の意見交換をしている。今後、多様な研修を実施して力をつける。

市民生活相談室

# 小・中学校に栄養教諭の配置で食育を

**問** 食育を通して児童の健全な育成を図るために、小中学校に栄養教諭の配置が必要。

## 県に要望

大堀教育長

**答** 栄養教諭の配置促進を県に要望する。

## その他の質問

**問** 緑のカーテン、エコ・アクションポイント事業の取り組み。

# 高齢化率の格差

田中栄太郎

**問** 近年の少子高齢化、核家族化の進行等、社会情勢の変化によって様々な格差が生じている。本市も自治会別に見ると高齢化率の格差が見受けられるが、その様な中で自治会の機能が低下してしまうのではないかと考えられる。本市が生き生きと持続発展するために格差解消に向けての方策は。

## 土地利用の規制緩和は有効

堤都市建設部長

**答** 本市の本年4月1日現在の高齢化率は18・4%、高齢化率の高い自治会では30%を超え、低い自治会では5%を切り地域での格差が見られる。

高齢化率の高い自治会では、防災面や防犯活動への取り組み、高齢者世帯の増加などが懸念され、自助、共助、公助の考え方に基づく地域福祉のまちづくりが重要である。

このために市民や市民活動団体等との連携による協働のまちづくりの推進を図るとともに、少子化対策やまちを活性化させる拠点の整備などを図り、若者がいつまでも住み続けたいと思える活力のあるまちづくりを進めなければと考える。また高齢化率の高い自治会はほとんどが市街化調整区域にあり、都市計画法による土地利用の規制がされている。

高齢化の解消に向けた対策の観点から見ると、土地利用の規制緩和は市街化調整区域の自治会等を活性化するという面では有効と考える。県との意見交換の場で提案し、また県を通して国に高齢化の対策として要望する。

土地利用基本構想



議会だより16.indd　13　2008/10/23　16:44:18

# 野洲駅南口Cブロックの活用は

河野（こうの）　司（つとむ）

**問** 野洲駅前は本市の玄関口であり顔であり、現状の駅前はにぎわいがない。

　商工会の合併も踏まえ、駅前南口Cブロックの活用の中で商業集積を検討し、活性化に向けた取り組みを行うため、市有地の一部を商工会に貸しては。

　また、新商工会に対する支援策は。

## 公園整備を計画

堤都市建設部長

**答** 駅前南口Cブロックの活用は、駅利用者や地域の代表者等による野洲駅前中心市街地整備計画検討委員会の意見として、心を癒せる緑あふれる公園整備をとの声があり、現在計画中である。

　新商工会への支援策は、まず提案をいただいたうえで検討。できる限り支援する。

# 市長のこれまでの総括は

**問** 新市誕生から4年、職員の意識改革をはじめ、財政、事業等、山崎長期政権の功罪は。それを踏まえた自己採点の点数は。

　事業の中で公約された駅前整備の現状をどう捉えているか。また、整備の遅れについては歴代部長にも責任の一端があるのでは。職員に対し、全体の奉仕者として公共の利益のために全力を挙げるよう指導されたい。

## 市民が評価

山崎市長

**答** 残事業等、基本計画にのっとる事業は、そのまま継承してもらう必要があり、新市長に対しアドバイスしていく。自己採点を優良可で表現するなら、自信を持って「優」と答えるが、最後は市民に評価を委ねる。

　Cブロックの問題は、議会での意見について、もう一度委員会で協議する。

野洲駅南口Cブロック

# 早期の実現を望む 交通対策と安全対策

本田（ほんだ）　章紘（あきひろ）

**問** 道路の慢性化した渋滞は、市民生活に多大な影響を与え、車社会における道路行政の遅れは若者流出の一因となり、急激な少子高齢化を招いている。早期実現を図るべき課題として国道・県道・市道の交通対策と安全対策を進める必要がある。

①周辺自治会と協議を進めている、国道8号野洲栗東バイパス道路の進捗状況と課題は。

②国道の周辺道路整備と交通対策は。

●県道の渋滞対策として「御上神社前交差点」の立体交差化の可能性。

●国道8号線の栗東・野洲間の信号改善による渋滞対策への取り組み。

●県道の渋滞緩和、地域の災害対策となる大山川右岸線建設の可能性。

●平成25年度完成予定の国道1号線バイパスの市内道路への影響と対策。

③道路の安全対策への取り組みは。

●県道野洲甲西線の歩道整備と三上小学校前交差点改良の取り組み状況。

●他市では集中豪雨で冠水した道路での悲惨な事故が発生している。見通しの悪いJR高架下道路の冠水状況を通行車両に知らせる安全対策。

## 実現への道のりは遠く

堤都市建設部長

**答** 野洲川右岸線の8号線への延長、湖南幹線道路と竜王ICの接続が今後の重要な課題である。

①国道8号バイパスは現地測量、地質調査の結果に伴い概略設計が6月に完了。関係自治会の意見要望を集約している。

②立体交差化は渋滞緩和に一定の効果が期待できるが、国道8号バイパス道路の完成に委ねる。

　大山川右岸線は河川法の基準等で実現へのハードルが高い。

③県道の歩道整備、三上小学校前交差点改良は安全性向上に向けて今後も県に強く要望する。

　市内アンダーパス交差箇所は行畑地先1、冨波地先2の計3箇所で排水ポンプを設置しているが、通行車両に危険を通知する機能を検討する。

国道8号線の車の洪水



議会だより16.indd　14　2008/10/23　16:44:24

# 後継者指名について

鈴木市朗

**問** ①市長は、8月25日の定例記者会見で、10月実施の市長選出馬表明4名の中から後継者指名をされた。

後継者に対し、今後の市のあり方、また残事業を含む政策等、基本的な部分をどのように託そうとするのか。

# 県との太いパイプがある

山﨑市長

**答** 合併をして4年が経過、『まちづくり基本条例』をはじめ、皆様の理解を得て制定することができた。

市が取り組んでいることはすべて、国・県の力を借りていかなければならない。例えば、企業立地法による認定区域を受けた市三宅地先や篠原駅を中心とする地域の農地転用など、市の力のみで成し遂げるのは至難な事業である。

本市の活性は県の発展にもつながり、共有の課題としての取り組みを知事に要請した。

そのような背景から、滋賀県での豊富な知識と行政経験を兼ね備え、『本市が取り組んできたことを高め・広め・生かし、まちづくりの主役は市民であるという意識を念頭において、市政に取り組む手腕がある』と判断し、立候補表明者の中から後継指名をした。

市役所本庁舎

# 防災防犯対策特別委員会研修報告

8月11日

兵庫県芦屋市役所

阪神淡路大震災で大きな被害を受けた、芦屋市における防災の取組みについて視察研修を行った。

都市環境部防災安全課長から、次の事項について説明を受け、質疑応答を行い、続いて市の総合公園に設置されている「防災倉庫」を視察した。

○阪神・淡路大震災の被害状況及び復旧状況
○被災者の心のケアの取り組み
○「地震の心得10カ条」「風水害の心得10カ条」「避難時の心得10カ条」「日常の心得5カ条」制定の経過と取り組みの現状
○地域の自主防災体制の現状と市の関わり
○行政無線の設置と運用方法
○防災訓練の内容と実施
○ライフラインの非常時対策としての日頃の取り組み
○災害時の相互協定
○災害弱者に対する取り組みと課題

芦屋市にて

本市においても、日常の防災への対応として、市民の防災意識を高め、市民相互あるいは市民と行政との信頼関係を育むことで、自主防災体制の確立と行政との連携強化が図れるとの思いを強くした。

また、災害に強いインフラ整備と、迅速に対応できる復旧体制の構築を、より一層充実しなければと痛感した。



議会だより16.indd　15　2008/10/23　16:44:30

# 議会の動き

《8月》
4日　文教福祉委員会
11日　防災防犯特別委員会視察研修
19日　会派代表者会議
21日　議会運営委員会
22日～27日　会派別協議会
29日　本会議（開会・提案理由説明）

《9月》
4日　本会議（議案質疑・一般質問）
5日　本会議（一般質問）
8日　本会議（一般質問）
10日～11日　総務委員会
12日　環境経済建設委員会
17日　文教福祉委員会
22日　本会議（委員長報告・採決等）
広報編集委員会

《10月》
2日　広報編集委員会
8日　広報編集委員会
27日　全員協議会
会派代表者会議

## 傍聴のご案内

９月定例会ではのべ41名の方に議場にて本会議を傍聴いただきました。

傍聴を希望される方は、本会議の当日、市役所本庁舎３階議会事務局の受付で、住所・氏名等を記入し、傍聴席に入場してください。

また、本会議での映像を、市役所本庁舎横コミュニティセンターやす１階会議室に設置のモニターにて放映しています。

なお、各委員会も同様に傍聴できます。日程等については、議会事務局へお問い合わせください。

○ＴＥＬ　０７７－５８７－６０３４

## 意見募集

やす市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

ご意見は、ＦＡＸまたはメールでお寄せください。

○ＦＡＸ　０７７－５８６－４３００

○メール　gikai@city.yasu.lg.jp

野洲市議会事務局まで

## 平成20年12月定例会予定

| 月　日 | 曜日 | 種　別 | 開議時刻 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 12月４日 | 木 | 本会議 | ９：00 | 開会、上程議案の提案説明 |
| 11日 | 木 | 本会議 | ９：00 | 議案質疑・一般質問 |
| 12日 | 金 | 本会議 | ９：00 | 一般質問 |
| 15日 | 月 | 本会議 | ９：00 | 一般質問 |
| 17日 | 水 | 委員会 | ９：00 | 常任委員会（付託議案審査） |
| 18日 | 木 | 委員会 | ９：00 | 常任委員会（付託議案審査） |
| 19日 | 金 | 委員会 | ９：00 | 常任委員会（付託議案審査） |
| 24日 | 水 | 本会議 | 13：00 | 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会 |

※上記日程は都合により変更される場合があります。

## 新議員紹介

10月12日の市議会議員補欠選挙で、次の2名が当選されました。

立入（たちいり）　三千男（みちお）　無所属

太田（おおた）　健一（けんいち）　日本共産党

## 編集後記

新市長のもと野洲市が新たなスタートを切りました。より充実した紙面作りで、新市政の議会の活動をお伝えして参ります。

10月8日には、広島県江田島（えたじま）市議会の議会広報特別委員会の皆さんが行政視察に来庁され、私たち広報委員も同席し活発な意見交換を行いました。紙面作りの参考となる貴重な意見も聞くことができ、双方にとって有意義な研修となりました。

紙面の充実に向け、私たちも日々研鑽して参ります。

広報委員会一同

江田島市議会との意見交換風景

PRINTED WITH SOY INK 印刷インクは環境にやさしい大豆油を使用しています



議会だより16.indd　16　2008/10/23　16:44:36